

古賀総合病院 広報誌

フィオーレ

KOGETA

Vol. 19



## Topics

■挨拶

社会医療法人同心会 古賀総合病院 副院長 木原 康

■登録医の紹介

木下内科医院 院長 木下 浩先生

■院内ニュース

新任医師紹介

地域医療機関における連携に関するアンケート結果

紹介状なしの外来受診時定額負担(選定療養)について

緩和ケア研修会の開催報告



古賀総合病院 副院長 木原 康



昨年7月より副院長に就任しました木原康です。あらためてよろしくお願い致します。

連日、新型コロナウイルス感染の報道が続き、各種行事の中止や延期が発表になっています。新型コロナウイルス感染の終息はいつになるのか分からず、しばらくは不安な日々をすごすことになりそうです。

古賀総合病院では昨年8月より急性期病棟からの転換で地域包括ケア病棟を開設しました。中央病棟4階に40床の病棟として運用しています。病棟名を在宅復帰支援病棟とし、リハビリなど在宅復帰へ向けての支援に力を入れています。この病棟の役割として、

①急性期病棟で治療後の在宅復帰をリハビリなどで支援（ポストアキュート）②在宅療養中の体調不良時の対応（サブアキュート）③自宅又は在宅系の施設への復帰が挙げられます。すなわち、入院から在宅への橋渡しと在宅療養を不安なくすごしてもらうことにあります。

このように地域で安心して療養できるようすることを支援する病棟なのですが、保険診療上の縛りもあります。①退院は自宅又は在宅型の施設（70%以上必要です）。②在院日数は原則60日が限度。③リハビリをするなら平均2単位以上必要（平日に3単位（1時間）程度できないとリハビリ対象にならないかもしれません）。また、勤務体制の都合により現在、原則夜間休日の緊急入院は受けていません（急性期病棟での対応となります）。このように慣れないと分かりづらいことがあるかもしれませんが、地域医療連携室などを通じて問い合わせてもらえば幸いです。

地域包括ケア病棟も運用開始から半年くらい経過し、ある程度様子が分かってきましたので、今後は在宅からの直接入院に積極的に取り組みたいと思っています。在宅診療をされている先生方で高齢者の熱発や下痢など軽症だけど在宅での加療が困難になったときなどの受け皿として利用していただければと思っています。

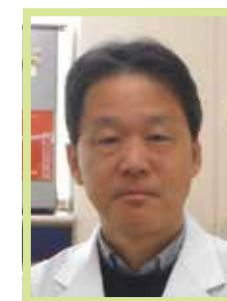
話は変わりますが、昨年6月に3T MRI装置（フィリップス社製 Ingenia Elition 3T）を導入しました。3Tだけに画質はかなり向上しています。特にMRAやMRCPなどがきれいになっています。腹部も呼吸停止で検査できるものが増え、ぶれの少ない画像が取れるようになっています。また、昨年10月にはSPECT-CT（GE社製 MN/CT860, 8列 MDCT 搭載型 SPECT）を導入しました。CTでの補正でより適正な診断が可能になり、CTとのFusionにより集積場所が分かりやすくなっています。これらの機器をぜひ気軽にご利用ください。

## 木下内科医院

〒880-0035

宮崎市下北方町常盤元1018番地1

TEL 0985-25-7887 FAX 0985-25-7671

院長  
木下 浩 先生

古賀総合病院の各科の先生方、スタッフの皆様方には日頃から大変お世話になり、ありがとうございます。重症例、緊急症例、精査の必要な症例など幅広く受け入れていただき大変感謝しております。私は宮崎大学第1内科在籍時に古賀総合病院の透析に非常勤として勤務させていただきました。

当院は父（木下恒雄）が1969年（昭和44年）に現在地（宮崎市下北方町、大宮小学校近く）で木下内科医院として開業したのがはじまりです。2001年（平成13年）に私が引き継ぎ、内科に加えて人工透析を開始いたしました。継承とはいえ父は漢方中心の診療を行っていたため、変えなければならないことも多く戸惑いの連続でした。特に透析はゼロからのスタートで、古賀総合病院から患者さんを紹介していただいたり、入院を受け入れていただいたり、シャントを作っていただいたり、いろいろとお世話になりながらなんとか継続してこられたと思います。

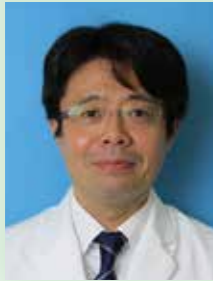
現在、内科外来診療は月～土曜日、透析は月水金（夜間まで）行っております。患者さん本位の地域医療をすすめていくうえで、その中核として、地域医療支援病院である古賀総合病院はなくてはならない存在です。当院から近距離でもあり、幅広い診療科が充実しており、これからも頼りにさせていただきたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。





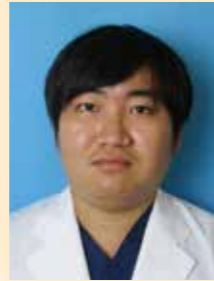
## 新任医師紹介

### 外科医長 吉川 弘太



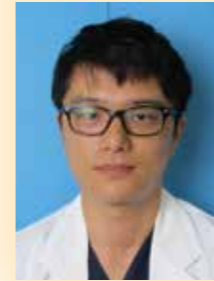
4月より外科で勤務させていただくことになりました。鹿児島出身で不慣れなところもあり、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、チームの一員として貢献できるよう努めてまいります。ご指導のほどよろしくお願い致します。

### 外科専攻医 関 健太



4月よりお世話になります関健太です。出身は東京です。外科後期レジデント3年目になります。精一杯頑張り、様々な手技を身につけたいと思います。よろしくお願ひします。

### 内分泌代謝内科専攻医 村上 陽亮



この度内科専攻医として勤務させていただくことになりました。医師5年目でまだまだ若輩者ですが、これから様々な経験をして、皆様に貢献できるよう努力して参ります。よろしくお願ひいたします。

### 内分泌代謝内科専攻医 堀 竜太



内科専攻医2年目・卒後5年目の堀です。日向市出身です。昨年までは宮崎生協病院に勤務しておりました。患者さん第一に、また自分自身は限界を作ることなく、日々の精進に励みたいと思います。よろしくお願ひします。

### 泌尿器科医長 三宅 那央



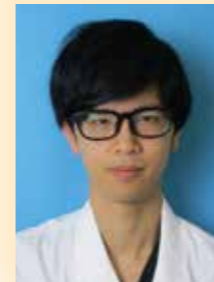
4月より泌尿器科医として赴任してきました三宅那央と申します。まだまだ慣れないことも多くご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、泌尿器科医として貢献出来るよう日々精進して参りますので、よろしくお願ひいたします。

### 神経内科医長 外山 晶子



宮崎大学病院から古賀総合病院に赴任しました。卒後9年目で専門は神経内科です。微力ではありますが地域のお役に立てるように精一杯頑張りたと思います。宜しくお願ひ致します。

### 循環器内科専攻医 富田 俊介



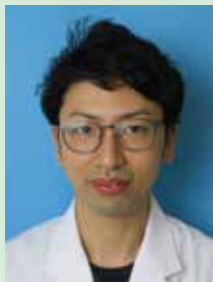
4月より内科専攻医として入職致しました。未熟で至らぬ点も多く、皆様にご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、日々精進し少しでも貢献できるように精一杯頑張りたと思います。よろしくお願ひ致します。

### 初期研修医1年 青山 勝治



これから2年間よろしくお願ひします。出身は小林市です。趣味は子供と遊ぶことです。一度社会人として働いたのちに、宮崎大学医学部に入りなおしました。臨床現場で一緒に働いた際には、ぜひご指導のほどよろしくお願ひします。

### 腎臓内科医長 藤元 健太



今年度から腎臓内科医として赴任することになりました藤元健太です。近畿大学を卒業し、大阪で数年勤務しました。新しい環境で日々勉強しつつ、地域に病院に貢献できるよう精進して参ります。よろしくお願ひ致します。

### 腎臓内科医 新屋 琴子



4月から腎臓内科で働かせて頂きます。鹿児島県出身で宮崎大学医学部を卒業し、卒後6年目です。まだまだ未熟ですが、少しでも地域の皆様に貢献できるよう頑張ります。よろしくお願ひいたします。

### 初期研修医1年 海老原 秀生



4月から研修医としてお世話になっております。生まれ育った宮崎にしっかりと貢献できるよう、社会人、そして研修医として一歩ずつ着実に歩んでいきたいと思ひます。至らない点多々あるかと思ひますが、ご指導のほどよろしくお願ひいたします。

### 初期研修医1年 津曲 麻依



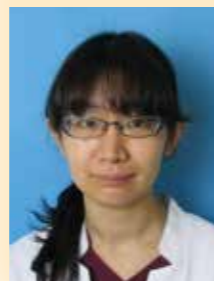
4月から初期研修医としてお世話になります津曲と申します。西都市出身で宮崎大学を卒業しました。多くのことを吸収できるように日々努力していきたいと思ひます。ご指導のほどよろしくお願ひします。

### 腎臓内科専攻医 古郷 博紀



4月から古賀総合病院腎臓内科で働かせていただくことになりました。医師4年目で、毎日学ぶことばかりであり、1日1日を大切に日々努力していこうと思ひております。よろしくお願ひします。

### 呼吸器内科専攻医 北村 彩



宮崎大学医学部卒、医師4年目です。両親は日南で有床診療所を開いています。私は現在、宮大附属病院神経呼吸内分泌代謝学に所属し、肺癌や間質性肺炎を主にみっていますが、古賀では内科一般を広く見させていただきます。趣味は社交ダンスで、いい息抜きになっています。宜しくお願ひ致します。

### 初期研修医1年 藤田 晋也



この4月からお世話になります藤田晋也と申します。初めて社会に出る右も左もわからぬ若輩者で、ご迷惑をおかけするかもしれませんが、精一杯努力していこうと思ひます。何卒よろしくお願ひ致します。

### 2020年1月～3月末までの退職医師

- ・川越富夫
- ・久保恵是
- ・清水浩一郎
- ・植野 堯
- ・岩切太幹志
- ・落合彰子
- ・鈴木浩之
- ・堀口崇典
- ・森 悠平

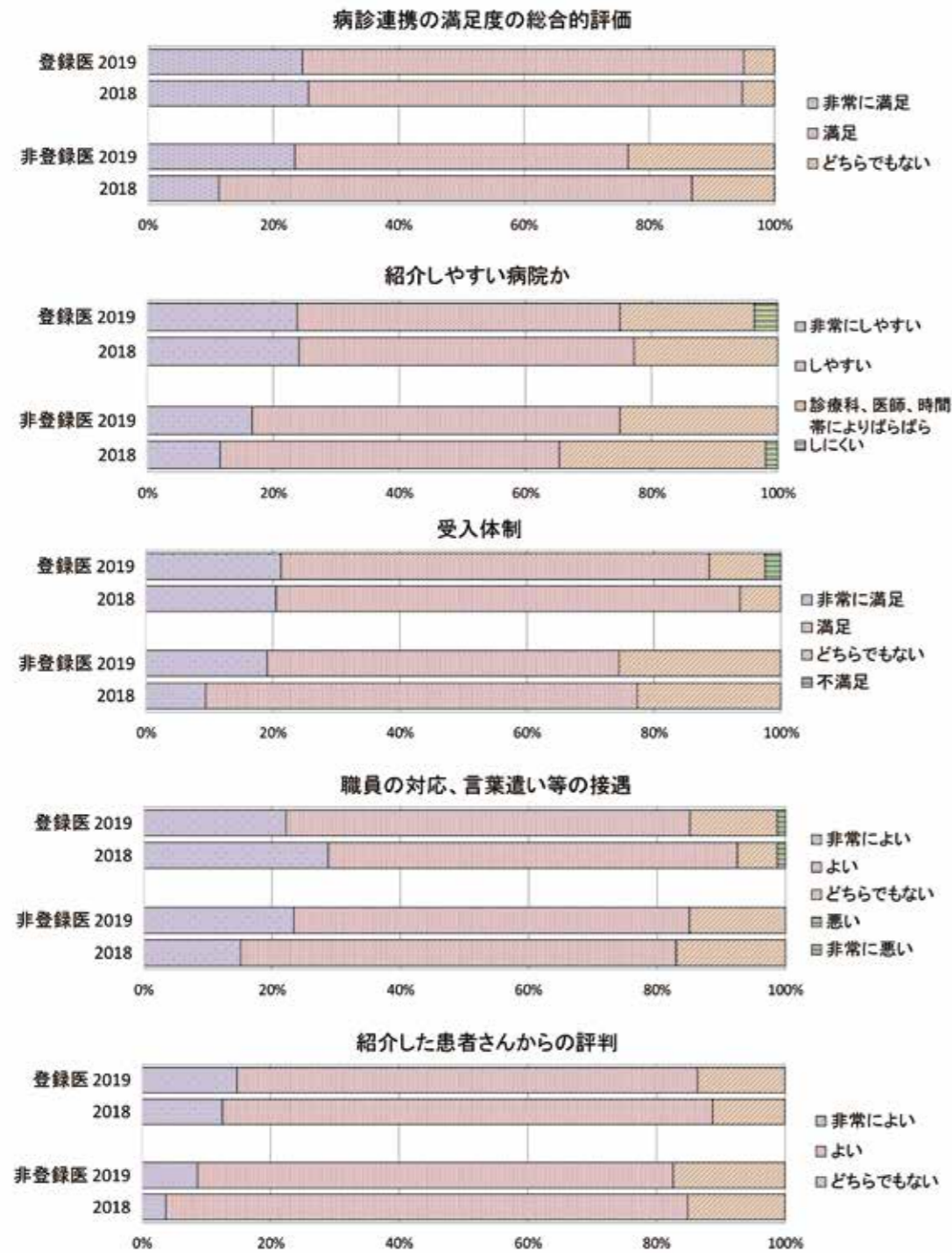
### 2019年度 臨床研修修了者

- ・鶴田雅子
- ・押川 隆
- ・中村希実



地域医療連携室

当院では病病・病診連携向上のため毎年、登録医および非登録医の施設アンケート調査を行っています。2020年1月に登録医199施設、非登録医237施設を対象に調査を行いましたのでご報告いたします。(回収率29.8%:登録医41.3%、非登録医20.4%)



当院は、地域医療支援病院として紹介患者さんに対する医療の提供や救急医療の実施等、地域の先生方と当院の連携を円滑にかつ、密に努めるよう、体制の強化を目指してまいります。アンケートへのご協力ありがとうございました。

医事課

2016年度(平成28年度)診療報酬改定により、紹介状なしの大病院受診時は定額負担が義務化され、特定機能病院(86施設)および400床以上の地域医療支援病院(347施設)が対象となっていました。2020年(令和2年)の改定で200床以上の地域医療支援病院(233施設)が加わりました。

全国8,412病院のうち666病院が初診5,000円以上、再診2,500円以上の定額負担の対象となります。

当院におきましては、4月1日より紹介状がない場合の定額負担は、初診について現状の3,000円から5,000円となります。また、当院より他院へ紹介したにも係わらず患者さんが引き続き当院での診療を希望し受診された場合は診察日毎に再診料2,500円をいただく事になります。

地域の先生方におかれましては、ご紹介の際はぜひ紹介状を添えていただきますようお願いいたします。

なお、定額負担の対象外となる場合もございますので、詳しくは当院(医事課窓口または地域医療連携室)へご相談下さい。

緩和ケア研修会の開催報告

地域医療連携室

2020年1月18日(土)、「宮崎県第5回緩和ケア研修会」が、古賀総合病院にて開催されました。この研修は、緩和医療に関わる医師等を対象とした研修会で、古賀総合病院での開催は5回目です。この日の集合研修は「がん等診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会 e-learning」の受講修了者が対象となっております。

参加施設は、宮崎大学医学部附属病院・宮崎県立宮崎病院・いしかわ内科・竹迫医院・古賀総合病院の5施設で、医師12名・看護師1名でした。

研修はe-learningの復習・質問・コミュニケーション・全人的苦痛に対する緩和ケア・療養場所の選択と地域連携・がん患者等への支援・ふりかえりの内容でした。

コミュニケーションの告知場面でのロールプレイでは、医師・患者・観察者を各1回ずつ体験するなかで、自分の試したいスキルを選択し使用しました。医師役では、質問に対する返答に困り沈黙となる場面もありましたが、その沈黙のタイミングも必要であり、患者さんの立場(表情・反応等)を考



えながら説明することの難しさを改めて感じる事ができ“患者さんと向き合うことの大切さを重く感じた”等の意見がありました。また、全人的苦痛に対する緩和ケアのグループワークでは、それぞれが活発な意見を出し合い、医療・福祉・地域との連携・顔の見える関係づくりの必要性を感じ、とても有意義な研修会となりました。

